

東日本大震災による影響

3月11日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に大きな被害をもたらしました。当社グループでは日本薬品工業株式会社の2工場が設備点検のために一時操業を停止しましたが、大きな被害はなく速やかに操業を開始することができました。本震災による2011年3月期への影響は、被災地への義援金や医薬品支援を含めて軽微であり、2012年3月期決算に与える影響も同様です。

今回の経験を生かし、原料の確保や製造所・物流拠点の複線化検討等、製品の安定供給確保をはじめとするリスク管理体制の見直しを進めております。

震災後の節電対策として、当社は7～9月の電力消費量削減(昨夏比△15%)に向けて様々な対策をとっております。製造部門の夜間・休祝日操業など、節電対応を含めた社会的要請にも積極的に応じてまいります。

被災状況

	人的被害	物的被害	備考
支店・営業所	なし	なし	
工場			
つくば工場（茨城県筑西市）	なし	軽微	3月22日 操業全面再開
茨城工場（茨城県稲敷市）	なし	軽微	3月24日 操業全面再開
研究所（埼玉県三郷市）	なし	軽微	研究スケジュールへの影響微少
物流センター（埼玉県春日部市）	なし	軽微	

震災後の対応状況

節電への協力体制
生産部門における対応 <ul style="list-style-type: none"> ・休祝日稼働、深夜操業の実施 ・主力製品の事前在庫積み増し ・電力消費量を意識した製造スケジュール対応
本社、研究所での対応 <ul style="list-style-type: none"> ・空調電力の削減（設定温度28℃の厳守） ・エレベーター、自動販売機、電気ポット、照明などの電力使用機器の使用制限 ・ノー残業デーの増設（週1日⇒週2日） ・クールビズの前倒し実施 通常6月からの実施を5月1日より前倒して開始 スーパークールビズの適用（ポロシャツ、Tシャツ、スニーカー可など）
デマンド監視装置の設置
その他対応
リスク管理体制の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・製品及び原料在庫の積み増し、主力品製造所の複線化検討、物流拠点の複線化検討など